

平成21年10月29日

各位

上場会社名 日本特殊陶業株式会社
 代表者 取締役社長 加藤 倫朗
 (コード番号 5334)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 柴垣 信二
 (TEL 052-872-5918)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|---------|--------|--------|---------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 224,000 | 2,500 | 2,000 | △1,000 | △4.59 |
| 今回発表予想(B) | 233,000 | 5,500 | 4,000 | 1,000 | 4.59 |
| 増減額(B-A) | 9,000 | 3,000 | 2,000 | 2,000 | |
| 増減率(%) | 4.0 | 120.0 | 100.0 | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成21年3月期) | 292,121 | △5,222 | △7,528 | △71,669 | △328.90 |

修正の理由

平成22年3月期の第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、昨年度後半から引き続いて厳しい状況ではありましたが、回復の兆しを見せており、平成21年5月8日に発表した業績予想を上回ることができました。

しかしながら年度後半は、為替相場については第2四半期末に急激に進んだドル安、需要面については自動車インセンティブキャンペーンの反動、MPU用ICパッケージ大手客先との取引終息など先行きの不透明さを払拭することができません。

このように見通しが立て難い状況ではありますが、第2四半期連結累計期間の結果を受け、当期の業績見通しを、為替レート1US\$=90円、1EURO=125円を前提に上記のとおり修正いたします。

(業績予想に関する記述等に関する注記)

これらの予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上